

寺崎組新聞

第百三十六号

平年度(令和二年度)

組合地決定

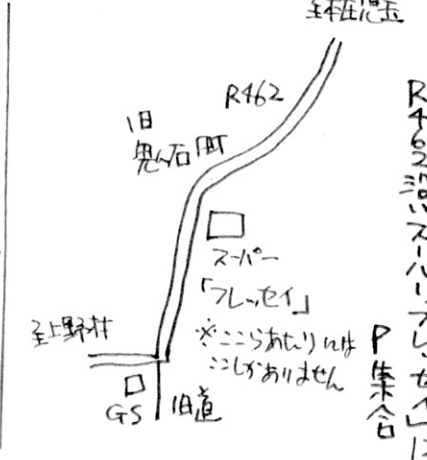
五月二日(水)

山梨県北杜市須玉町



七月十八日(土)

山梨県南都賀郡



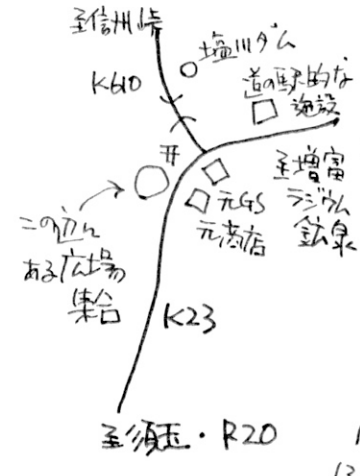
九月十九日(土)

山梨県北杜市



十二月二十一日(土)

山梨県北杜市須玉町



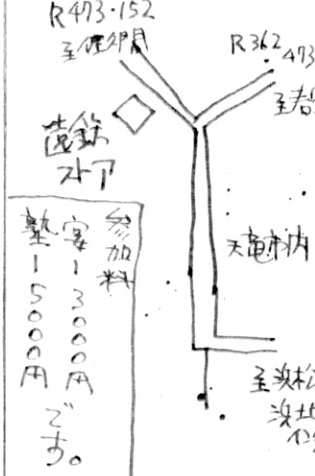
十二月十九日(土)

山梨県北杜市



令和三年三月二十日

山梨県北杜市



富士見組合初参加し ポート十組長レポート

184回組合報告

一月二三日の組合にCRM250Rにて参加いたしました。イデナワと申します。
初参加から年も明けてしまい、参加レポートも遅くなり申し訳ございません。簡単ではありますが自己紹介をします。一九七二年生まれの四七歳で、バイク歴は三年になります。オフロード歴・キャンプ歴は二年と林道等の経験は殆どありません。現在、勉強中です。

二年ほど前に2ストのバイクが欲しくなり、たまたまCRMを購入了しました。現在は、CRM250RとCRF1000Lを所有し、キャンプ・オフロードの師匠であるサンペイ君に指導してもらいながら林道等を楽しんでいきます。
組合については、サンペイ君から色々楽しい話を聞いていたので、参加してみたいと思いつつ参加することができました。テレビで観た寺崎さんにもヤット会えました。怖いイメージでしたが、新人の私に話しかけていただき優しい方なんだとびっくりしました。

参加にあたり、ヤルこと全てが初めてで、びっくりすることが多く、二日間楽しく走るといふより緊張して走っている方が多かったと感じています。しかしながら、夜の宴会では皆さんの話が聞けて楽しかったのと、乾杯をした時に大地の神様にもお酒をあげたことに感動しました。皆さん自然が大好きだと感じました。話すことは得意ではありませんが、これからも参加していきます。よろしくお願いたします。



記 260号、イデナワ

仕事(アルバイトだが)の都合で二日金曜日にナンチャッテDRを軽トラに積んで千葉を出発。目指すは軽トラをデポする予定の小武川。冷たい雨の降る中、暗くなりかけた頃に峠の降り道、暗く滑りやすくなり、改めマックスバリュで買い出しを済ませた。小武川を目指し、つものスキャンクランプ場に降りたその時、薄暗い軽トラのヘッドライトに木と大岩と激しい水の流れ。小川を渡るいつもの道は完全に消滅していた。だめだこりゃ。というわけでコンパットキャンプ場へ移動。軽トラと立ち木の枝を利用して雨避けのドカシーを張り、その下にテントを張った。

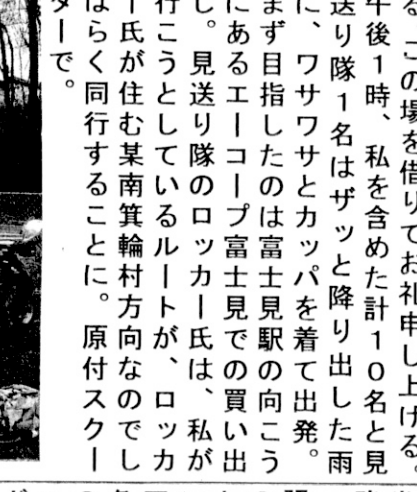
次の日、寺崎組野宿塾集合の日だ。待ち合わせ場所は長野県富士見町の国道20号線沿いのホームセンター「ニマート」。待ち合わせ時間は12時。仕事(アルバイトだが)柄、まだ夜中だと思われる午前3時にはヘッドランプ使用で大用を済ませ、テント内でインスタントラーメンと食パンと前夜の一人宴会残り物などの朝食。薄明るくなったところで軽トラからバイクを降ろし、濡れたドカシーをたたみ、半分濡れたテントを撤収して出発準備完了。



富士見まではそんなに遠くないわけ(ざっと30kmぐらいだろうか)当然ながら林道を散策・探索しながら向かうことにする。まずは年末宴会地を予定していたスキャンクランプ場が使えないことがわかったので、代替え地を探することに。幸いなことに御座石鉱泉の手前に発見。国道20号線に下り、ガソリン補給後釜無川右岸林道へ。舗装林道だが災害で立ちこめ崩れていた。それなりに楽しめた。道なりに雨乞尾白川林道へ。こちらも舗装林道だが、峠を越えた所から分岐する内山林道へ。ゲートはあったがチンパイと唱える。しばらく使われていないよう倒木や流水で荒れている。そこはナンチャッテDRの足付き性の良さからパワーで、峠の丁字路まで上って来た。丁字路を右に入れない。結局は国

道20号線(甲州街道)の塩沢温泉のあたりに出られるのだが、伐採が行われており、道は走りやすくなっている。八ヶ岳方面の展望抜群で、ウロしているうちに楽しい時間は過ぎていき、早く帰りたい。てっきりJマートだと思っていたホームセンターは何故か「綿半」というホームセンターに変わっていた。11時半頃には駐車場のはずれに到着。店の入口付近には見たことがある紫のデジベル250、O型氏である。続いてWRの地下鉄氏、KTM690エンデューロのカバ氏、カブ110の村松正こと村松岡氏、今回は見送りとスクーターのロッカー氏。雑談しつつ食パンの屋メシなど食っている間に雨がポツポツ。そして何と初参加のオノノ氏はデジベル200みたいなDFというバイクに乗って来た。そして、この頃寺崎組にはまりまくっているCRFの半蔵氏、黄色いクロスカブの山田石油氏、オバ急という鉄道会社に勤めるサンペイ氏はTトレイド。しかしサンペイ氏の後ろにもう一台、またもや初参加、オバ急の先輩であるイデナワ氏、今時珍しいCRMに乗って来た。

オバ急のサンペイ氏、フェイスブックで寺崎組の普及活動をやっている。この場を借りてお礼申し上げる。午後1時、私を含めた計10名と見送り隊1名はザツと降り出した雨に、ワサワサとカッパを着て出発。まず目指したのは富士見駅の向こうにあるエコー富士見での買い出し。見送り隊のロッカー氏は、私が行こうとしているルートが、ロッカー氏が住む某南箕輪村方向なのでしばらく同行することに。原付スクーターで。



富士見と言えは入笠山ということ、ベタなルート選びではあるが、まずは金沢林道へ。勢よく突入しようとしたその時、林道の入口に手を振る警備員。「あのー、電柱工事で行止めなんですよ」。がびーん(古っ)。仕方なく適当な道に入っ

て適当な砂利道に入ったのだが、道は唐松林の中、尾根に向かっている。道は上って来た。タイトターンに泥という路面も多々あり、ピグパワのKTM690エンデューロなんかはさぞかし苦労しそうな道だ。リアにプラスチックボックスを積んだオノノ氏のDFだが、何個かのフォグランプを装備するなど、こういう道はどうかと思われたが、さすがに年の功、安定した走りについて来た。こういう道は笑うしかない半蔵氏。もしかして、入笠山方面のどこかに出ているのかも知れないと思われたその時、ある沢で道はブツブツと行き止まり、Uターン。

金沢林道が通れないので、本当は板室林道千代田湖経由で入笠山方面に行きたかったのだが、甲州街道に出ないで分岐を探していたのだが、どうも記憶があいまい。あつちこつちにUターンしながら進むと、この道だけは、10台ものバイク、それも女性もスクーターもいるデコボコ団体で通りたくなかったのだが、悪名高き金沢峠への道に入ってしまった。こちらはガレタタイトターンの急坂の連続。一度止まると、ブレーキをかけてもズルズル後退する。前車がエンストし、後続が転倒、スクーターは両足漕ぎ、半蔵高笑いして全員無事金沢峠の舗装路に出た。

さて問題は野宿地だ。テント10張りを立てられる広場はそうあるものではない。おまけに予定外のルート。すぐそばの千代田湖に無料キャンプ場があるとスマホで調べた村松正氏、様子を見に行ってくれたが、冬季閉鎖でバツ。仕方なく金沢林道の工事していない区間を走り芝平峠へ。もう陽は傾いていたが、雨空にドバッと虹が架かっていた。寺崎組の明るい未来へ渡る虹か。んなことはどうでもよく問題は野宿地。はたして芝平峠の下の川原に広い場所があったの思い出した。待ち合わせのJマートに向かう時にこの道を通ったという地元民のロッカー氏に尋ねると、誰もいなかったというので、そこを野宿地にしよう。その場所はシーズン中はファミリーキャンプでにぎわう場所なのだ。どうも世間はキャンプブームらしいので、こんな季節でもだれかいるのではないかと恐れていた場所なのではないか。状態の川原に到着。夕焼けが落葉した唐松林を一層赤く染めていた。バイク屋のお仕事頑張ってください。

